

まちなかエリアにおける商店街の活性化について

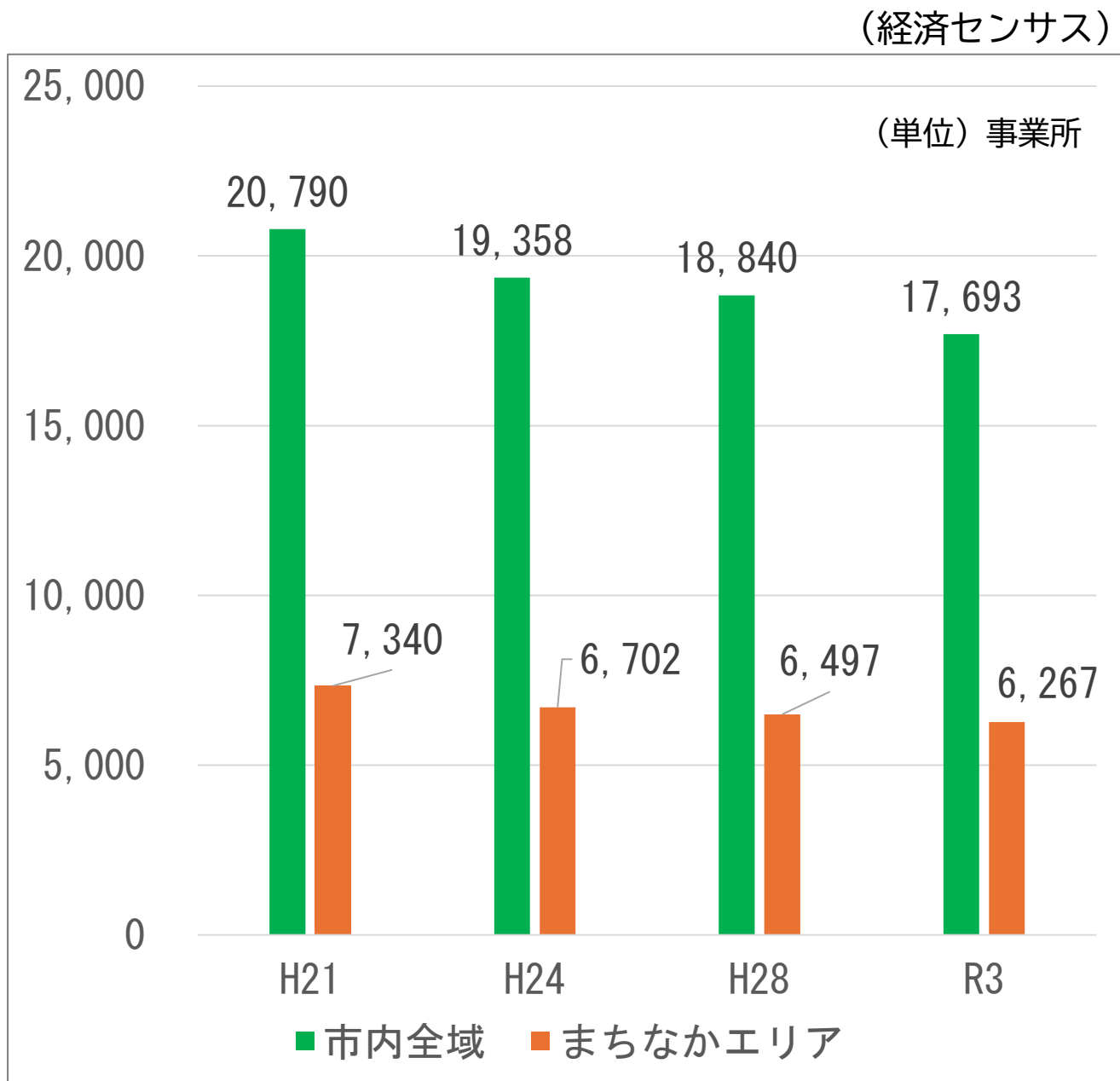
目次	ページ
1 現状	2 ～ 8
2 これまでの取組みと成果	9 ～ 12
3 今後の方向性	13 ～ 15

令和8年10月
経済産業部

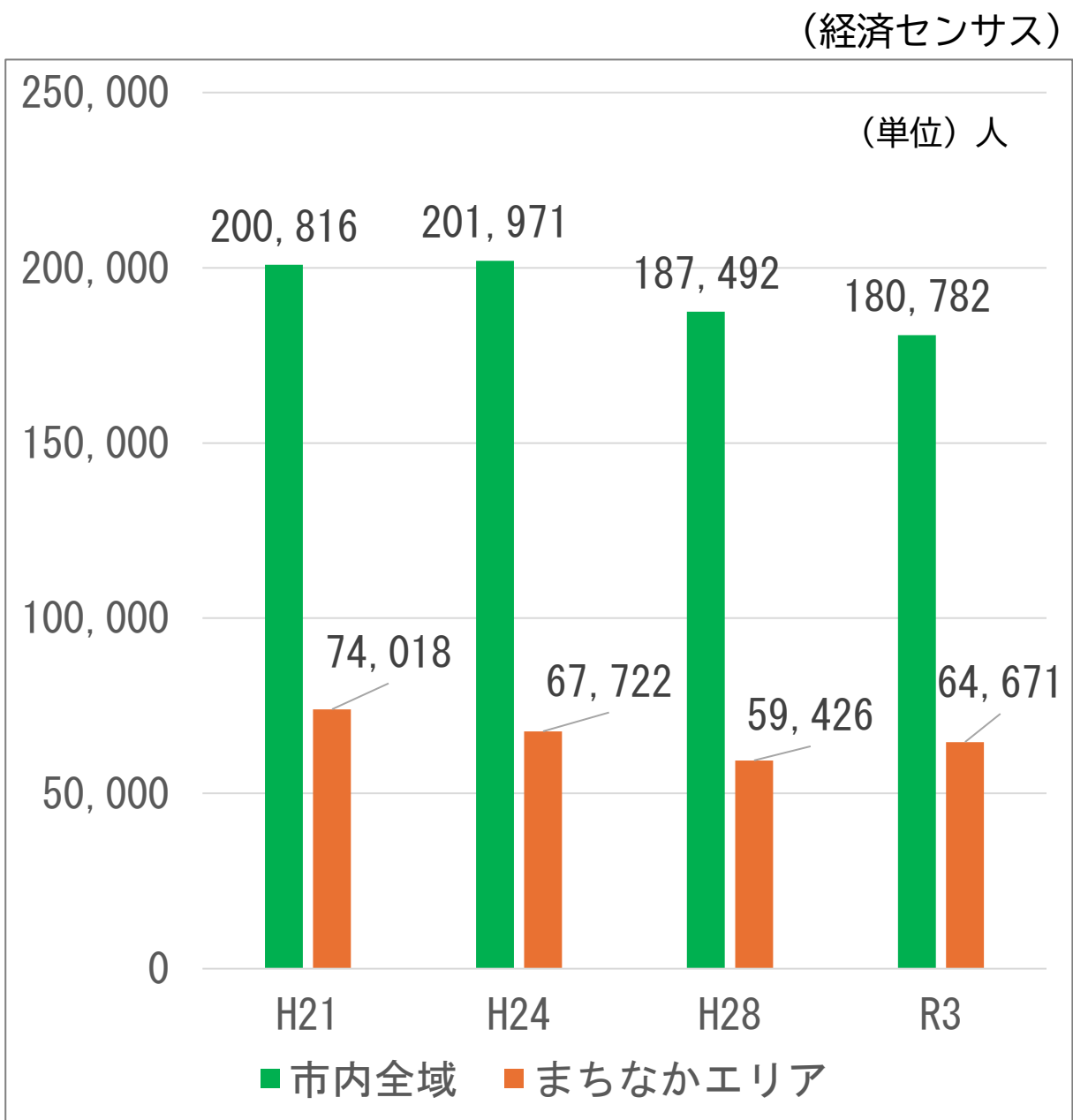
1 現状

(1) まちなかエリアにおける各指標の推移

ア 全事業所数



イ 全従業員数

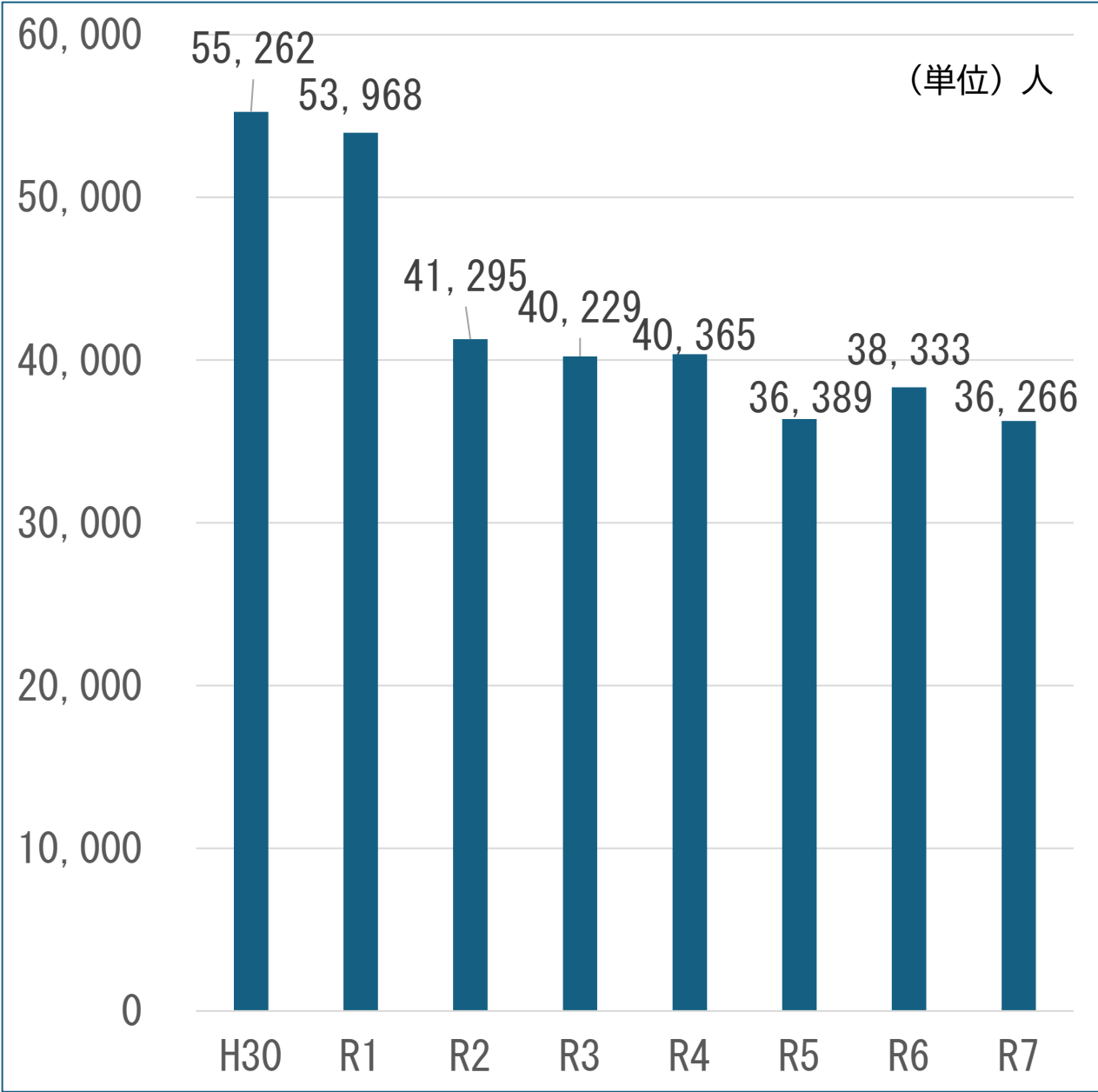


1 現状

(1) まちなかエリアにおける各指標の推移

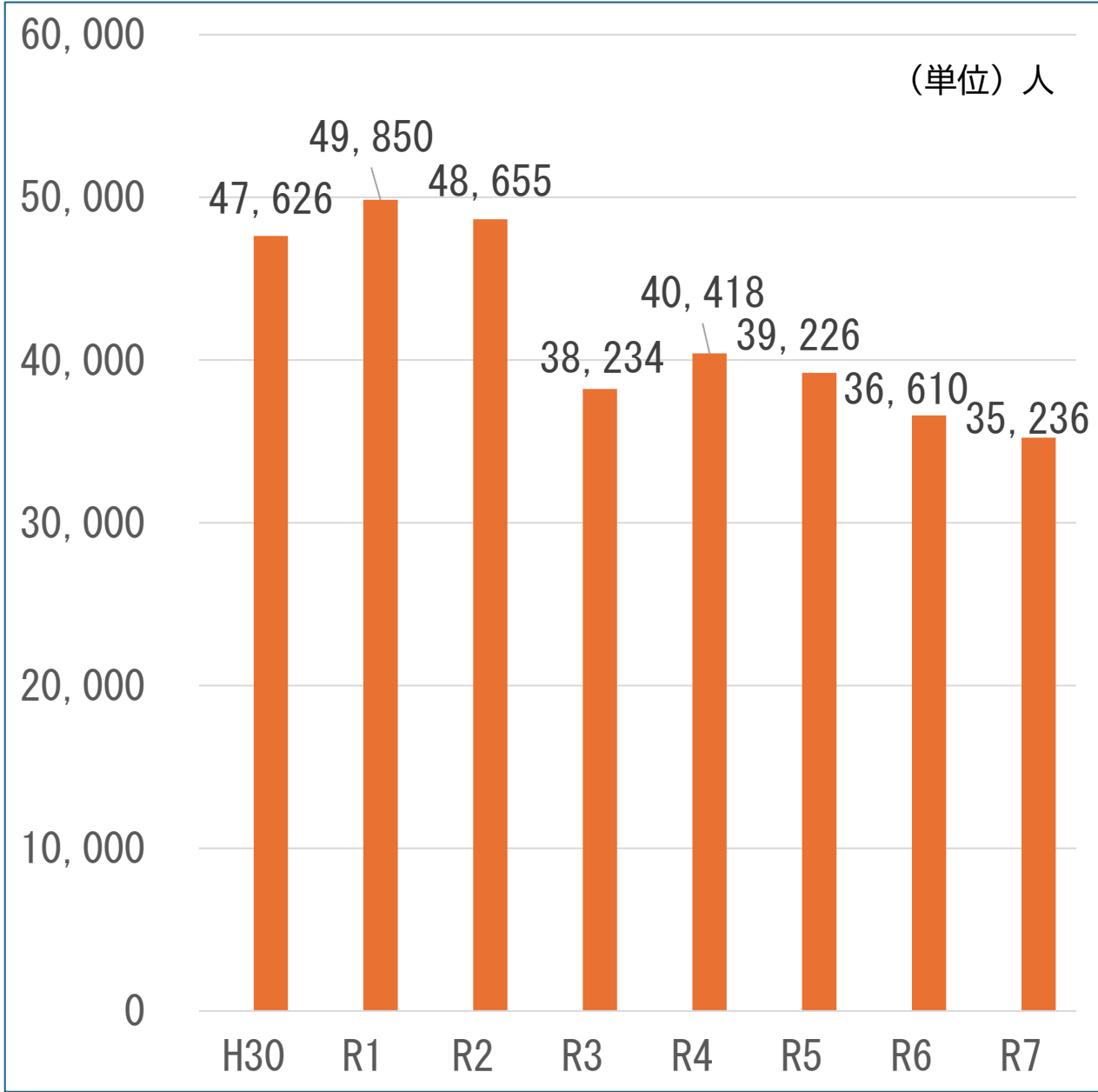
ウ 歩行者通行量（平日）

（長崎商工会議所調査）



エ 歩行者通行量（土日）

（長崎商工会議所調査）



※まちなかエリア8地点（浜市・中通り・広馬場・築町・大波止・新大工・駅前・大浦）のデータ

1 現状

(2) 商店街組織

ア 商店街振興組合（商店街振興組合法に基づく組合）

- ・長崎浜んまち商店街振興組合連合会
 - ・長崎浜市商店街振興組合
 - ・長崎浜市観光通商店街振興組合
 - ・長崎浜市電車通商店街振興組合
 - ・長崎浜市万屋通り商店街振興組合
 - ・長崎鍛冶市商店街振興組合
 - ・長崎市中通り商店街振興組合
 - ・長崎新地中華街商店街振興組合
 - ・長崎市新大工町商店街振興組合
- （まちなかエリア外）
- ・長崎住吉中園商店街振興組合
 - ・長崎市平和町商店街振興組合
 - ・長崎本原アンジェラス通り商店街振興組合
 - ・長崎城栄商店街振興組合

イ 任意の商店街

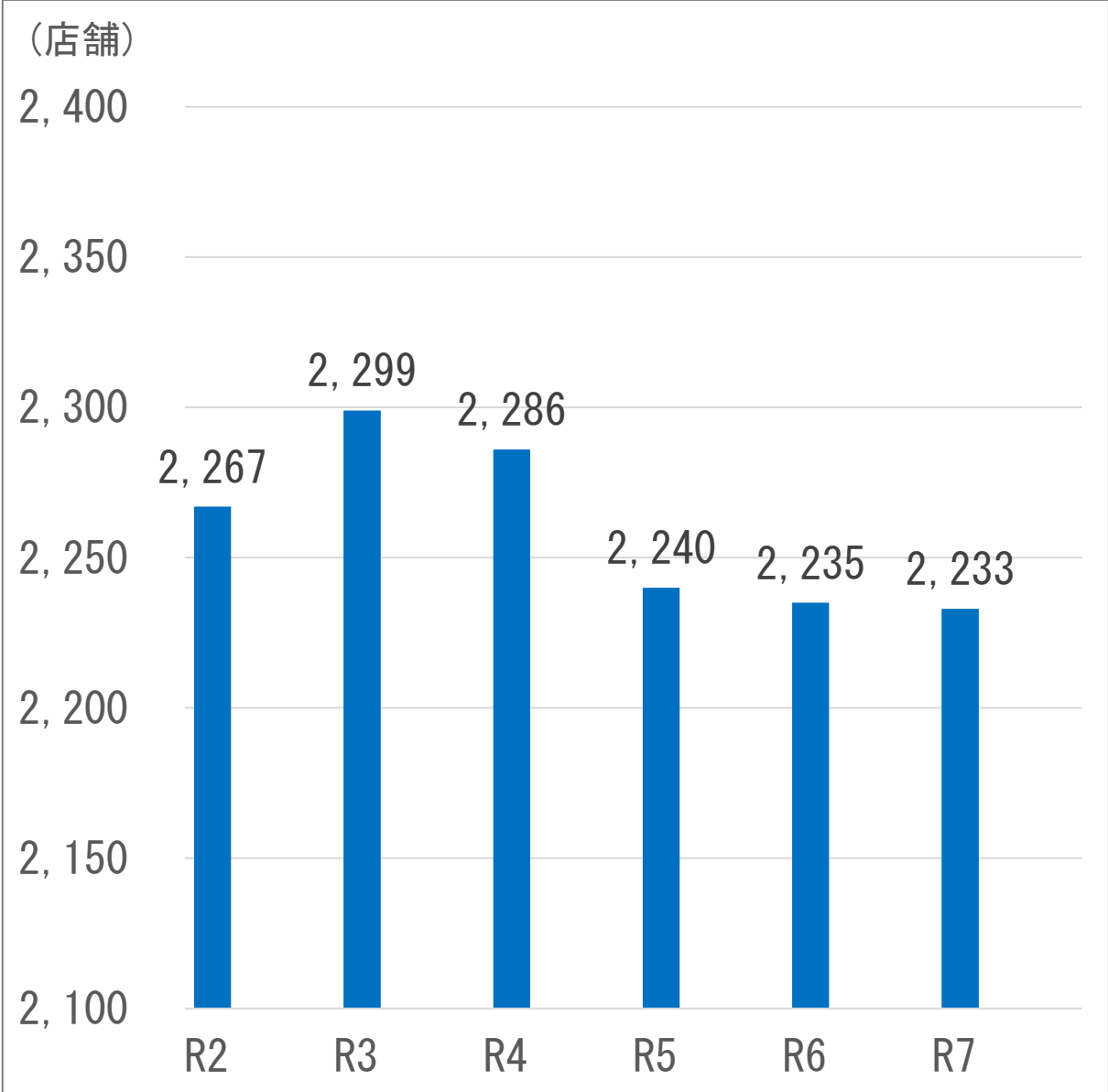
- ・長崎市商店街連合会
 - ・浜市商店連合会
 - ・長崎市築町商店会
 - ・江戸町商店街振興会
 - ・銅座町商店街組合
 - ・思案橋市会
 - ・思案橋横丁会
 - ・船大工商店会
 - ・柳小路交友会
 - ・長崎新地湊市商店街会
 - ・広馬場商店街振興会
 - ・長崎駅前商店街組合 など
- （まちなかエリア外）
- ・住吉商店会
 - ・中園銀座商店会
 - ・ウラカミクス
 - ・稲佐中央通り商店街組合
 - ・矢上町商店会
 - ・戸石地区商店会
 - ・大浦商店会
 - ・女神大橋商工会 など

1 現状

(3) まちなかエリアにおける商店街の各指標の推移

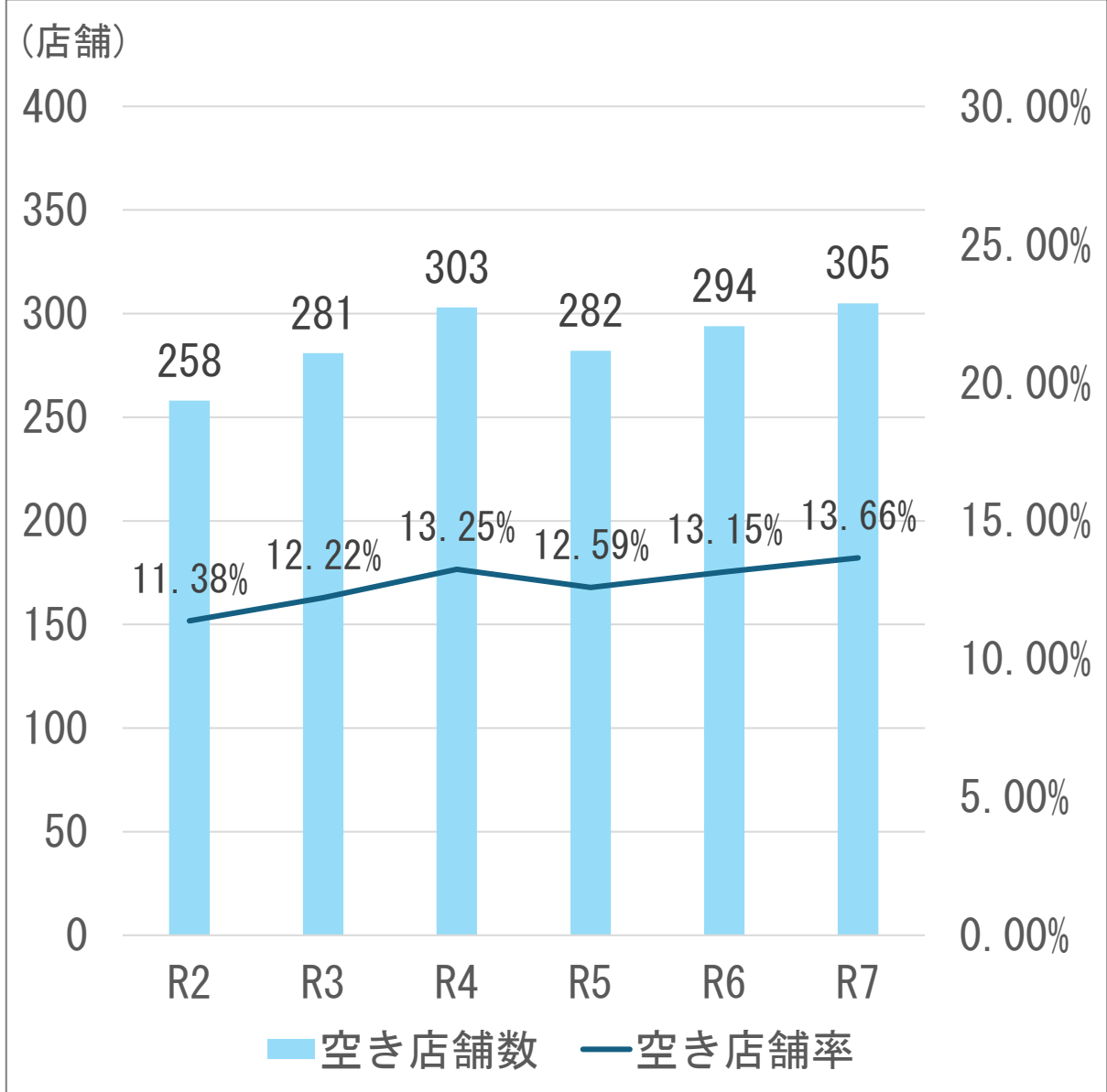
ア 商店街総店舗数

(商店街便覧調査)



イ 空き店舗数・空き店舗率

(商店街便覧調査)



1 現状

(3) まちなかエリアにおける商店街の各指標の推移

ウ 商店街加入数・加入率

(商店街便覧調査)



主な商店街の加入者数の推移

(単位：人)

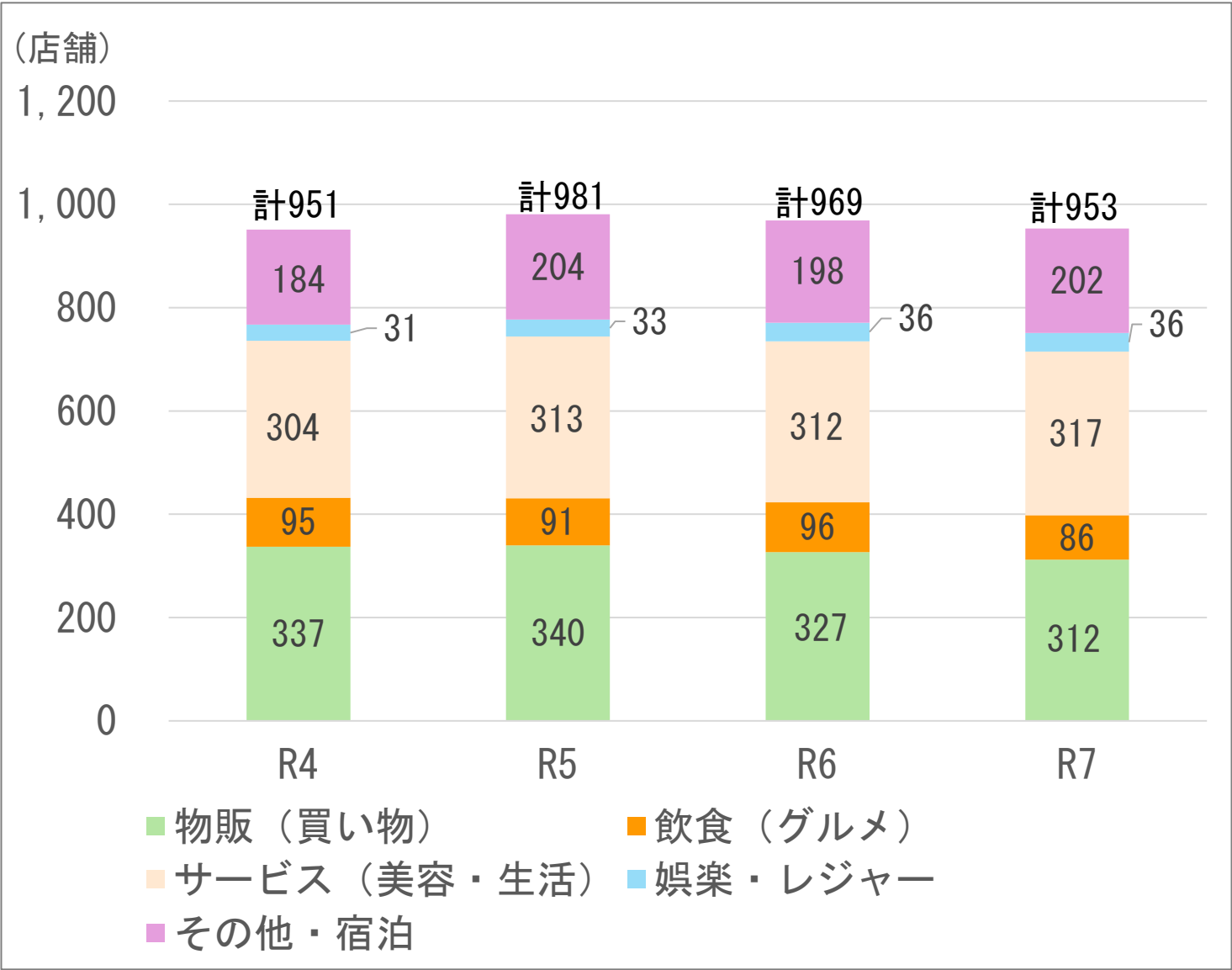
商店街名	加入者数		
	R2	R7	差引
長崎浜市商店街振興組合	69	68	▲1
長崎浜市観光通商店街振興組合	71	64	▲7
長崎浜市電車通商店街振興組合	37	41	+4
長崎浜市万屋通り商店街振興組合	39	31	▲8
長崎鍛冶市商店街振興組合	39	36	▲3
長崎市中通り商店街振興組合	50	34	▲16
長崎新地中華街商店街振興組合	32	30	▲2
長崎市新大工町商店街振興組合	75	69	▲6

1 現状

(3) まちなかエリアにおける商店街の各指標の推移

エ 商店街の業種

(商店街便覧調査)

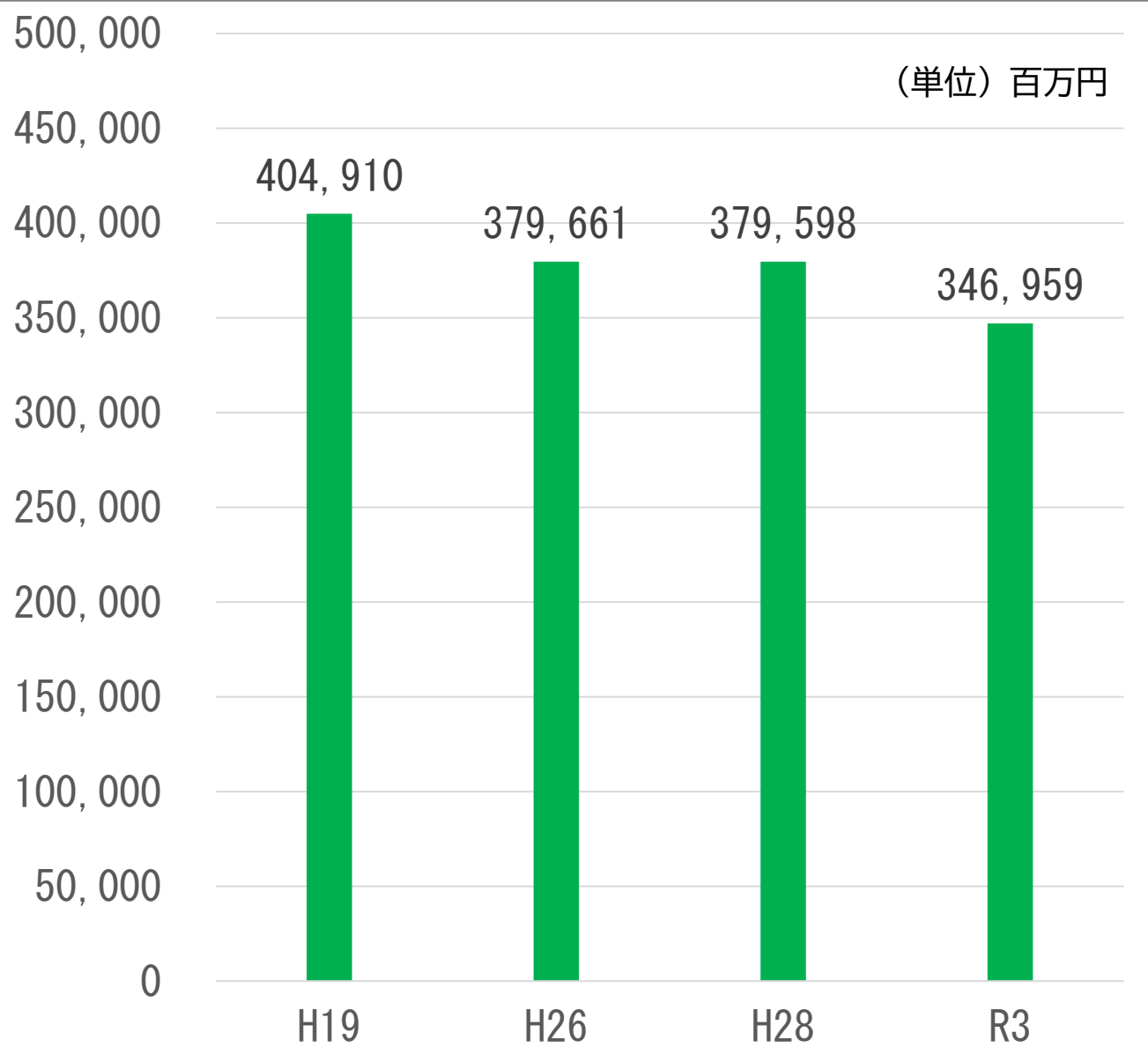


1 現状

(4) 長崎市における各指標の推移 (参考)

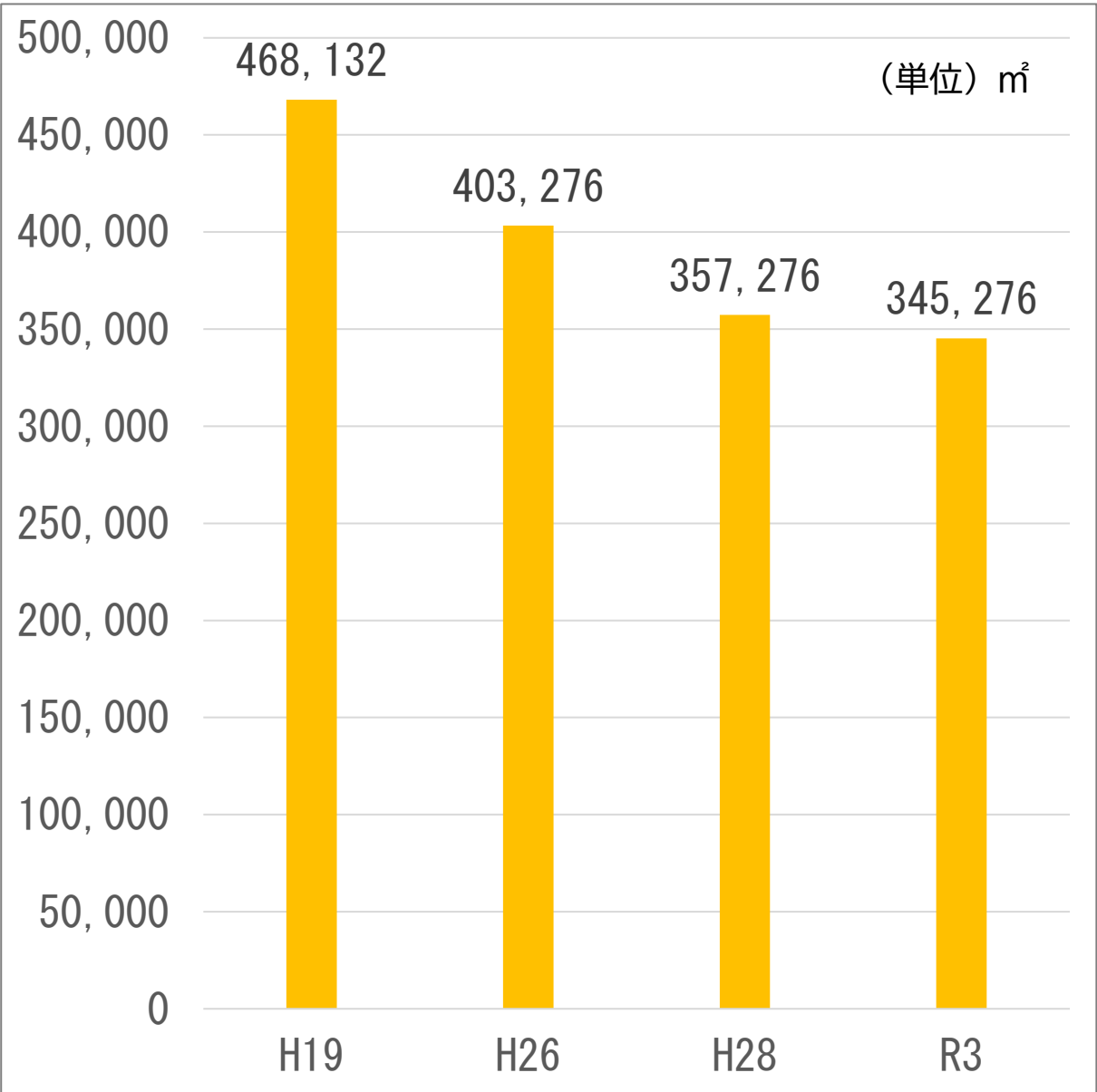
ア 小売業の年間商品販売額

(経済センサス)



イ 小売業の売場面積

(経済センサス)



2 これまでの取組みと成果

商店街向けの支援

商店街等を核とする にぎわい創出支援

人口減少社会に対応する力強い商店街の創出に向け、その担い手となる商店街等の体制強化のための新たなにぎわいを創出する事業や、商店街共同施設等の整備に対する支援

(ソフト)

事業年度	補助額	件数
R5	2,779,000円	5件
R6	2,474,000円	4件
R7	1,419,000円	2件

(ハード)

事業年度	補助額	件数
R5	18,720,000円	2件
R6	10,000,000円	1件
R7	7,450,000円	1件

商店街会員（個店）向けの支援

空き店舗活用支援 (新規店舗・新規会員の創出)

商店街等の空き店舗への出店や商店街等が地域のにぎわい創出のために実施する空き店舗を活用した整備等の空き店舗対策事業に対する支援

商店街等への加入を要件として
いる

事業年度	補助額	件数
R5	19,789,000円	12件
R6	6,565,000円	4件
R7	2,100,000円	3件

繁盛店創出支援 (既存店舗・現会員の活性化)

商店街等の既存店舗の集客力向上のための商品・サービス等の開発、新事業展開・業態転換、デジタル化推進事業に対する支援

事業年度	補助額	件数
R6	2,630,000円	6件
R7	2,067,000円	7件

2 これまでの取組みと成果



回遊促進等を生み出すスタンプラリー等のイベントを実施したことにより、イベント参加者数や参加店舗の増加につながった。

また、商店街新規加入店舗の増加にもつながった。

○長崎駅前商店街組合の例（R7実施）

商店街の飲食店を巡るスタンプラリーを実施した。駅前商店街は大黒様をイメージキャラクターとしているため、各店「福」に関する食材を使用した。

- 【補助額】 800千円（事業費 1,200千円）
- 【成果】 商店街イベント参加者数 331名（前年比 約6倍）



○中通り商店街振興組合の例(R7実施)

発祥400周年を記念して長い歴史や文化を活かした個性ある地域の実感できるイベントを実施した。

- 【補助額】 619千円（事業費 930千円）
- 【成果】
 - ・ 商店街イベント参加店舗数 47店舗（前年比 13店舗増）
 - ・ 商店街新規加入店舗数 3店舗



2 これまでの取組みと成果



商店街内の空き店舗への
出店や既存店舗の新たな魅
力向上につながった。

また、商店街加入を補助
金交付の条件としたこと
により、加入促進や青年部が
創設されるなど、体制強化
にもつながった。

空き店舗活用支援

【中通り商店街の例】

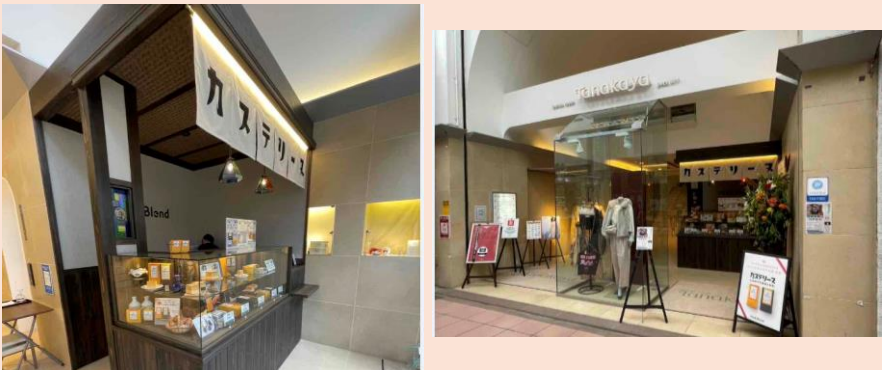
雑貨屋兼カフェという形での出店と
ともに、青年部創設に関わるなど精力的に
活動



繁盛店創出支援

【長崎浜市商店街の例】

ECサイトのみで販売していた商品を店
舗でも販売できるように改修したことで、
来店者が増え、商店街全体の来街者増に
貢献



【実績（R5年度）】

商店街向け			
No	商店街等		補助額
1	長崎市平和町商店街振興組合	内市場の空き店舗を改修	3,000,000
出店者向け			
No	商店街等	業種	補助額
1	長崎市中通り商店街振興組合	雑貨屋兼カフェ	2,000,000
2	長崎市中通り商店街振興組合	食料品小売	1,134,000
3	長崎浜市万屋通り商店街振興組合	特産品小売	2,000,000
4	長崎思案橋商店街協同組合	飲食	866,000
5	長崎市築町商店会	食料品小売	1,963,000
6	長崎住吉中園商店街振興組合	カフェ	2,000,000
7	長崎住吉中園商店街振興組合	パソコンショップ	1,885,000
8	長崎住吉中園商店街振興組合	レンタルスペース	2,000,000
9	長崎住吉中園商店街振興組合	フィットネスジム	800,000
10	大浦商店会	菓子製造小売	1,743,000
11	長崎市北部商工会	アイスクリーム小売	398,000
決算額			19,789,000

【実績（R6年度）】

No	商店街等	改善内容	補助額
1	長崎浜市商店街振興組合	ECサイトのみで販売していた商品を実店舗で販売するための改修等	500,000
2	長崎市平和町商店街振興組合	薬局の店舗区画の一部をエステ区画に改修	376,000
3	東長崎商工会	来店型販売を促進するための、直売店限定の新商品の開発(夏限定青りんごアイス、大村産パニヲを利用したアイス)	500,000
4	長崎市新大工町商店街振興組合	自社や商店街を知ってもらうための新商品開発(店舗利用の調味料の商品化、ご当地プリン)	374,000
5	東長崎商工会	テイクアウト商品の開発	490,000
6	長崎市築町商店会	協力飲食店との家庭でできる、からすみの新メニュー開発	390,000
決算額			2,630,000

2 これまでの取組みと成果



商店街等が地域の実情に応じて実施するプレミアム付商品券の発行を支援することで、消費拡大や集客向上、また、商店街新規加入店舗の増加にもつながった。

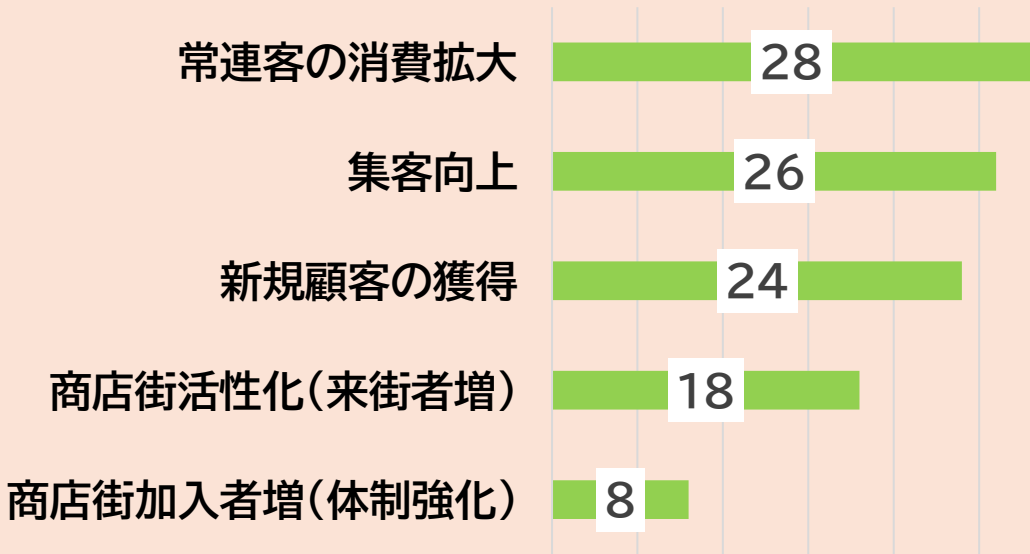


支援内容

国の交付金を活用して、商店街等が地域の実情に合わせて実施するプレミアム付商品券の発行を支援することで、市内事業者の売上増につなげ、地域のにぎわいの創出と活性化を図る。

事業効果

令和7年度商店街等プレミアム付商品券発行支援事業参加団体へのアンケート調査（全29団体）



実施年度	プレミアム率上限	支援数	補助額
令和5年度	30%	32件	595,061千円
令和7年度	20%	29件	359,407千円

区分	部数	換金額	プレミアムの額
電子商品券	47,790	495,758千円	81,018千円
紙商品券	165,610	1,273,044千円	217,179千円
合計	213,400	1,768,802千円	298,197千円

3 今後の方向性

(1) 商店街における課題（R7年度 各商店街への聞き取り調査）

商店街等名	聞き取り内容
長崎浜んまち商店街 振興組合連合会	・商店街活動を行う<u>人手不足が深刻化</u>しており、今まで商店街だけでやってきたことを商店街単体で継続することは不可能。 ・商店街単体ではなく、エリア単位でのまちづくりが必要。 ・後継者問題含め商店街活動を商売の片手間でできなくなっているため、<u>エリアマネジメント等を担う専門部隊が必要</u>。
思案橋横丁会	・思案橋・銅座エリアには若い世代が訪れやすい施設が不足している。 ・イベント実施は、ボランティアでは無理がある。<u>単発イベントをして終わりではなく、収益を上げるシステムづくりを行っていくことが必要</u>。 ・まちを一緒に支えてくれる<u>若手や担い手の育成が必要</u>。
江戸町商店街振興会	・県庁舎跡地がどうなるか次第。 ・会員数が減少して、<u>担い手が不足</u>してきている。 ・<u>今まで各種イベントをしてきたが、来客者が増える等の効果が感じられない</u>。 ・歴史を活かしたまちづくりをしたい。
長崎市築町商店会	・大型商業施設、県庁移転によって店舗の売上げや従業員が減り、大きな影響が生じている。 ・インバウンド観光客も見られるが、多くはクルーズ船客であり、朝に入港し夜に出港する行程が中心であるため、滞在時間が短く、昼食利用程度にとどまっているため、経済効果が限定的。 ・商店街でイベント等を開催する際、<u>活動できる人員を確保できない</u>。 ・築町や浜町等のまち単位で考えるのではなく、エリアとして対策をしていくことが必要。
長崎市中通り商店街振興組合	・皆自分の店の営業で忙しく、<u>事務局の人材が不足</u>。 ・設備修繕に対する資金不足。 ・<u>イベント企画や事務を行うノウハウ不足</u>。
長崎市新大工町商店街振興組合	・設備面（放送設備、街路灯）の老朽化。 ・イベント等を行う事務局に、<u>若い担い手不足</u>。 ・商店街も中長期的な計画がない。

- ➡
- ・商店街としての今後の計画がなく、単発のイベントで終わっている。
 - ・事務局の担い手が不足しており、後継者の育成ができていない。

3 今後の方向性

(2) 取組み事業

ア 「商店街再生プラン」の策定支援による持続可能な商店街づくり

本事業は、各商店街が策定する今後のビジョン等を盛り込んだ「商店街再生プラン（以下「プラン」という。）」の策定に向け、市職員が伴走して支援するもの。

なお、令和8年度施行の「長崎市商店街等再生プロジェクト支援事業補助金」においては、プランの策定を補助金交付の要件とした。

この取組みにより、商店街間取り結果にあった「商店街としての計画がなく、単発のイベントで終わっている」という課題の解決を図る。

(ア) プラン策定に向けた専門家活用と補助制度

各商店街がプランを策定するにあたり、事務局のノウハウ不足や担い手不足を補うため、外部専門家等の活用に要する経費を補助し、現場に寄り添った体制強化を図る。

(イ) プランに基づいた補助金交付

各商店街が策定したプランに沿って必要とされる、アーケード改修等のハード事業や、イベント等のソフト事業を支援する。

これにより、単発イベントへの補助を見直し、将来を見据えた計画的な支援を実施する。

(ウ) 数値目標に基づくPDCAサイクルの運用

事業計画において、客観的に評価可能な数値目標を2項目以上設定することで、効果を検証し、継続的な改善を図っていく。

3 今後の方向性

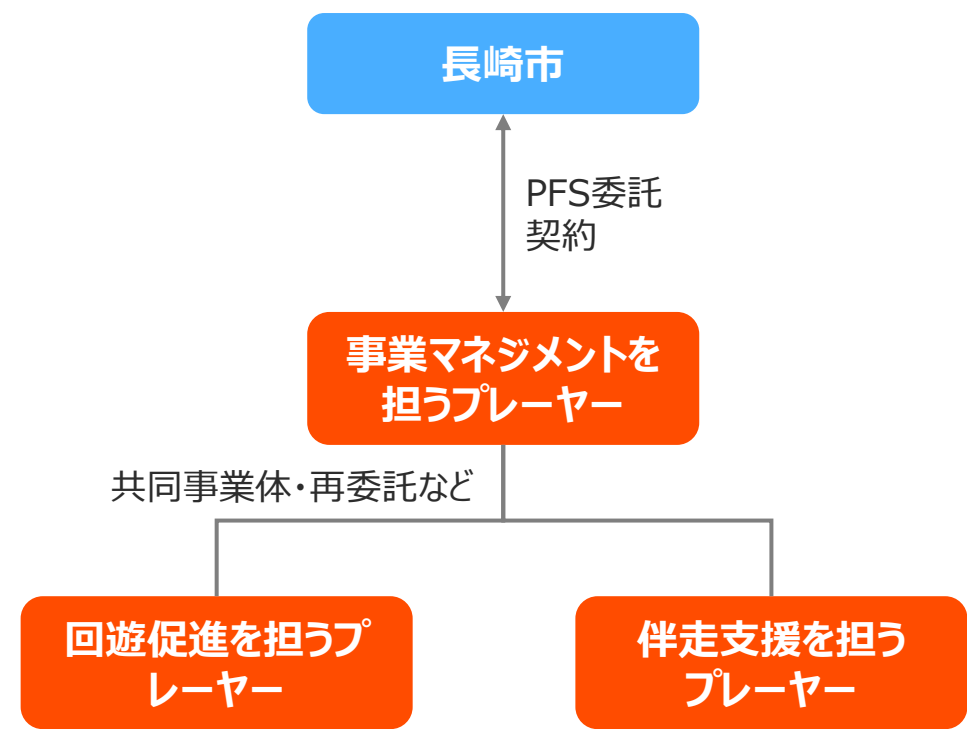
(2) 取組み事業

イ 成果連動型民間委託契約方式の活用検討【R8.6特別委員会資料再掲】

◆内閣府「成果連動型民間委託契約方式（PFS/SIB）に係る事業案件形成支援※」を受け、長崎市、内閣府、日本総合研究所（内閣府より派遣された案件形成支援事業者）の三者で、現状と課題の把握、成果指標の設定等の事業条件の検討を進めている。

※令和7年度、令和8年度の2か年

<事業体制イメージ>



※民間側（受託者）は、複数のプレイヤーによるチームアップ、もしくは単一のプレイヤーによる実施が想定される。

※役割分担はあくまで一例であり、実際には民間事業者の検討によって様々なパターンが想定される。

役割	概要
事業 マネジメント	成果指標改善のためのPDCAを実施 ➤ 事業計画の策定 ➤ 個別業務のセルフモニタリング ➤ 各業務の改善 ➤ 計画の改良
伴走支援	まちなか関係者への参加勧奨 スタジアム関係者への参加勧奨 勉強会運営 試行的取組（イベント等）実施支援 まちなか・スタジアム魅力発掘
回遊促進	周知ツールの提供 回遊促進